

令和4年度土砂災害防止月間の取組について

1 要旨・目的

土砂災害による死者ゼロ・被害最小化のため、土砂災害防止月間（6月）において、多様な主体と連携し、より効率的かつ浸透効果の高い「避難啓発推進キャンペーン」及び「フィールド体験型防災教育」に取り組む。

なお、本取組は、「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の一環として取り組むものである。

2 現状・背景

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として、土砂災害に対する防災意識の醸成と災害の事実を後世に伝承することを目的とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」を推進している。また、令和3年8月豪雨における県民の避難状況等にかかる調査において、県民の避難を充分促せていないことが明らかとなり、県民の避難行動につながる取組の推進がより一層必要となっている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

ア 避難啓発推進キャンペーン

避難行動を啓発するメッセージを内容・デザインの統一されたコンテンツを用いて、短期集中的に多様なメディアやツールを通じて発信するキャンペーンを以下のとおり実施する。

（ア）取組期間

令和4年6月23日から令和4年6月29日（ひろしま防災の日）

（イ）活用する統一コンテンツ

従来から避難啓発に活用している、「呼びかけ避難」と「率先避難」の重要性を訴えるポスターに加え、新たに「あなたの大事な人を悲しませない。だから避難を。」をキャッチコピーとして設定する。



避難行動を啓発するポスター

(ウ) 取組内容

項目	内容
テレビ・ラジオ等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャンペーン期間中に、「みんなで減災」推進大使や気象予報士等が天気番組や防災特別番組において統一コンテンツを用いた情報発信を行う。また、合わせてCMを放送する。(民間テレビ放送局4社及び民間ラジオ放送局2社、特に6月29日の「ひろしま防災の日」においては全社同日放送を予定) ○ 県広報誌及びタウン情報誌において、統一コンテンツを用いた記事を掲載する。 ○ 県の公式SNS(ツイッター、フェイスブックなど)及び県ホームページにおいて、統一コンテンツを用いた情報発信を高頻度で行う。 ○ 広島市中心部(紙屋町・八丁堀・広島駅周辺・シャレオ中央広場)に設置されたデジタルサイネージにおいて、統一コンテンツを用いた情報発信を行う。
避難行動を啓発するポスターの掲示等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道やバス等の公共交通機関、大型ショッピングセンターやスーパー等の小売店等、銀行等の金融機関、郵便局、小中学校や高等学校等の教育機関、病院等の医療機関、警察や消防を含む国・県・市町の公的機関庁舎、シャレオ地下街など、多くの県民が訪れる様々な施設へポスター約16,000枚を掲示する。 ○ コンビニエンスストアや携帯電話店舗等において、ポスターと同一デザインのチラシ約16,000枚を配布する。
クリアファイルの配布	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内の児童(小学4年生)を対象とし、ポスターと同一デザインのクリアファイル約26,000枚を配布する。

イ フィールド体験型防災教育

国（中国地方整備局）と連携し、県内で発生した土砂災害の被災地近傍の中学校において、砂防堰堤の現場見学や降雨体験機による豪雨体験などのフィールド学習と座学を組み合わせた出前講座を以下のとおり開催する。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況や気象予警報の発表状況を踏まえ、開催方法等を適宜判断する。

場所	広島市立城山北中学校 (広島市安佐南区八木)
対象	中学1～3年生(約360名)
日時	令和4年6月29日(水)11時50分～15時10分 (予備日 令和4年6月30日)
内容	<ul style="list-style-type: none">土砂災害について学ぶ砂防講座降雨体験機を活用した体験学習平成26年8月豪雨災害に伴い整備した砂防堰堤の現場見学 <p>【見学場所】広島西部山系306溪流直轄砂防堰堤 (広島市安佐南区八木)</p>



砂防堰堤の現場見学(イメージ)



降雨体験機

(3) スケジュール

—

(4) 予算(単県)

約10,000千円

4 その他(関連情報等)

「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」ホームページ

<https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/densyou/index.html>